

令和を生き残る防災BCP対策

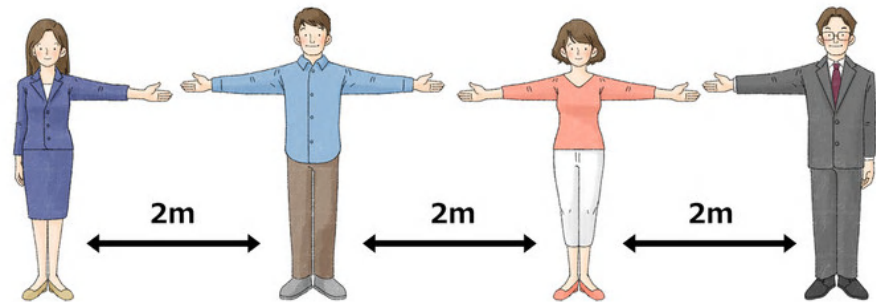


「小型分散型の在宅避難生活訓練」の必要性



ソーシャルディスタンス型防災・HUGシリーズ

新型コロナウイルス感染拡大時における
「密」を避ける地震・台風など複合災害のBCP対策





新型コロナウイルス
拡大時期の防災対策



本当にその対策（蓄電池・発電機）で大丈夫ですか？



ネットで売ってるものなど安全性能は担保されているのか？

価格
安全性能

価格に見合う性能か？
いつ来るか分からない対策にあまり過大な資金は使えない

緊急時に最低限必要な容量か？
スマホ+PC・FAXなど

容量

本当に必要な
バッテリーとは？

太陽光パネルで
たった1日で充電

HUG3200はUPS機能付き
勝手に充電開始します

重量

持って逃げられるか？
今後は小型分散型が有効で必要な蓄電池です



身近な防災とは？
備蓄倉庫に入れっぱなし
なんてもったいない！
普段使いしましょう！

CO2排出
騒音

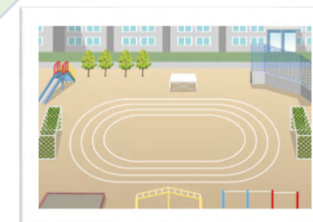
ガソリンなどのメンテナンスや
予備ガソリン備蓄は大丈夫か？

災害発生時の避難方法確認（それぞれの避難場所の役割）

指定緊急避難場所

（安全な構造で堅牢な建築物・運動場や駐車場など）

- 災害発生時に一時的に避難する場所
- 命を守るための緊急的避難場所
- 土砂災害、洪水、津波、地震など災害種別ごとに指定



密になる可能性

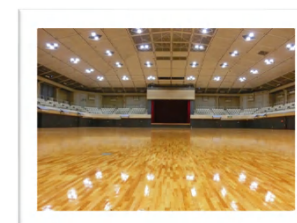
CORONAVIRUS
COVID-19



指定避難所

（体育館・公民館など）

- 災害の危険があり避難した住民が災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、また、自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを想定した施設



密が発生する為、今までの避難場所がそのままの状態では使えない可能性

○指定緊急避難場所 (国土地理院のウェブ地図上で公開)
 災害の危険から命を守るために緊急的に避難をする場所
 土砂災害、洪水、津波、地震等の災害種別ごとに指定

【指定緊急避難場所のイメージ】



土砂災害に対する
指定緊急避難場所の例

対象とする災害に
対し、安全な構造で
ある堅牢な建築物



地震、大規模な火事等に対する
指定緊急避難場所の例

対象とする災害の
危険が及ばない学
校のグラウンド・駐
車場等

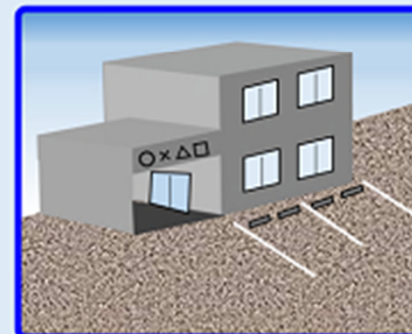
○指定避難所

災害の危険があり避難した住民等が、災害の危険がなくな
るまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻
れなくなった住民等が一時的に滞在することを想定した
施設

【指定避難所のイメージ】



学校・体育館
等の施設



公民館等の
公共施設



緊急避難場所→避難場所→拠点避難場所・二次避難所・在宅被災者



避難場所に多数の人を集めることが難しい状況下での防災対策とは



避難所

拠点避難所の役割

- 避難者の受入
- 情報の収集拠点
- 在宅被災者の対応
- 応急医療活動の拠点 (医療救護所等の設置)
- 初動期における近隣住民等の安否確認などの応急活動

拠点避難所
(区立小中学校)

避難所
(都立学校、
公共施設、
民間施設)

避難所の役割

避難者の受入

・避難状況の報告
・各種要請

・情報連絡
・各種指示

食料・水、
生活物資の配給

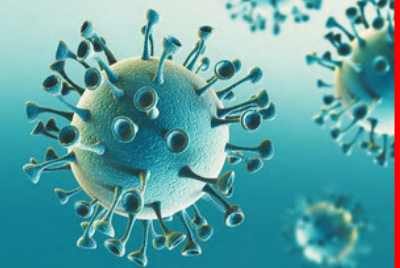
在宅被災者

要配慮者
(高齢者・障害者等)の移動

二次避難所

密になる可能性

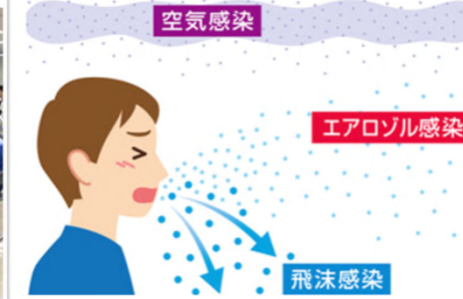
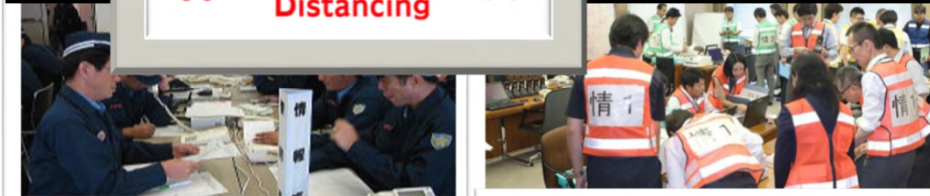
CORONAVIRUS
COVID-19



緊急避難場所→避難場所→拠点避難場所・二次避難所・在宅被災者

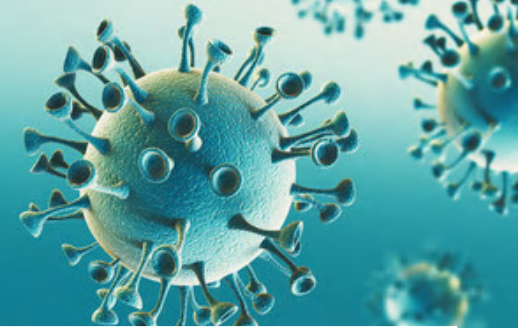


現在のままでは
ソーシャルディスタンスは不可能



コロナウイルス拡大期の
小型分散型防災BCP対策

CORONAVIRUS
COVID-19

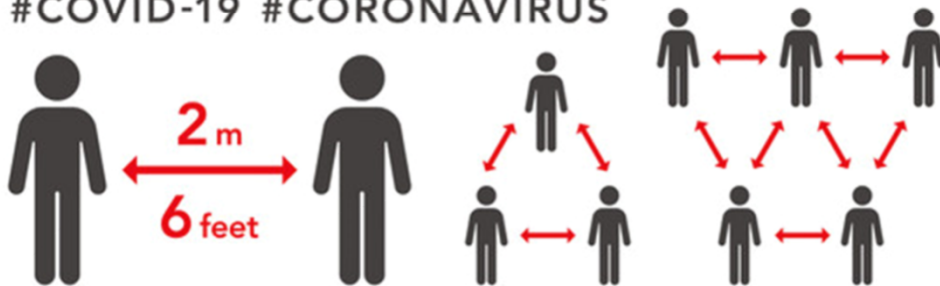


ソーシャルディスタンス型防災・HUGシリーズ



S O C I A L D I S T A N C I N G

#COVID-19 #CORONAVIRUS



間近で会話する
密接場面



換気の悪い
密閉空間



大勢いる
密集場所



◆多数の災害関連死の可能性の検証◆

新型コロナウイルス・パンデミックの今、もし大地震が発生したら、避難所などで多数の災害関連死が出る危険性がある。

25年前の阪神・淡路大震災の時も、季節性インフルエンザが流行していた。兵庫県の犠牲者6402人のうち、3カ月以内に震災関連死と認定された人は919人（14.35%）に上る。

死亡主因別では、循環器系疾患、呼吸器系疾患、既往症悪化で、全体の約93%を占める。大半はインフルエンザが引き金になったものと推定されている。高齢者が感染症に見舞われると、合併症などで重篤になりやすい。妊産婦、基礎疾患のある高齢者、ハイリスク患者などの「感染弱者」を密集空間の避難所に押し込むことはできない。

感染弱者は、一般避難者と分け、被災地外の施設や福祉避難所などに収容すべきだ。

大地震が起きる前に、感染症まん延時の災害医療体制の構築と避難所運営マニュアル策定が急務である。

1964年東京オリンピックの4カ月前に新潟地震が発生。しかし、その時は感染症の流行がなかった。

「小型分散型の在宅避難生活訓練」の必要性

◆新型コロナウイルス対策・「在宅避難」しかない◆

2016年の熊本地震では、地震による直接死は50人だったが、その後の避難生活中に亡くなり、関連死と認定された人は220人に上る。

避難所に避難した60代男性は日記に「臭くて汚いトイレが1時間待ち、板の間に毛布1枚では痛くて寒くて眠れない」と書いていた。その男性は、4日目に高熱を発して病院に搬送され、急性肺炎と診断された。

昨年の台風19号では、満員で入れない避難所が続出した。

もし今、大地震が発生すれば、多数の避難者で同じことが起きるだろう。発災直後の避難所は劣悪環境である。できれば、避難所に避難しなくていいように、安全な家にする（住む）ことも大切だ。

そして、電気、ガス、水道、電話が使えないと仮定し、1～2日暮らす「在宅避難生活訓練」をお勧めする。本当に必要なものが見えてくるし、備蓄は7日分の意味が理解できる。停電は14日間程度は継続する可能性もある。

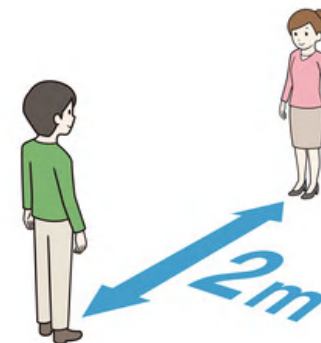
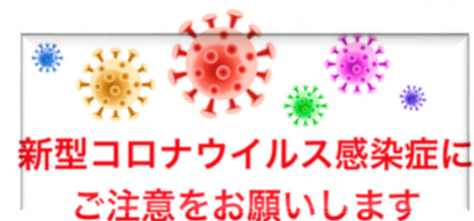
引用文献：防災システム研究所所長・山村 武彦（やまむら・たけひこ） 1943年生まれ、東京都出身。
64年の新潟地震でのボランティア活動を契機に「防災システム研究所」を設立。
以来50年以上にわたり、世界中で発生する災害の現地調査を実施。

「小型分散型の在宅避難生活訓練」の必要性

3密にならない避難場所運営



ひ なん ば しょ
避難場所
Safety Area



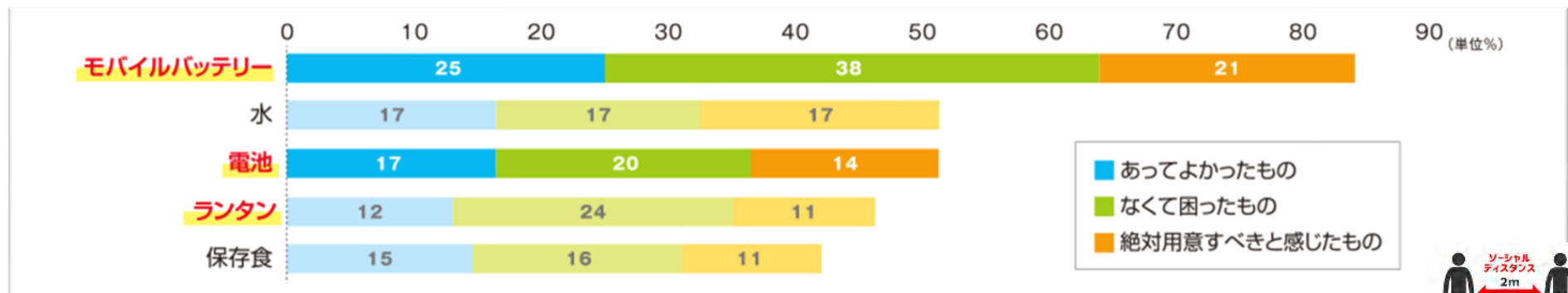
実際の災害時に、本当に必要なものは何だったのでしょうか

災害時に必要な備えについて、発災後の3日間で「あってよかったもの」「なくて困ったもの」、災害を経験し「これは絶対用意すべきと感じたもの」は何か尋ねたところ（複数回答可）、「モバイルバッテリー」84%、次いで「水」「電池」51%、「ランタン」47%、「保存食」44%という結果になりました。安否の確認、災害状況の確認だけでなく病院情報の収集や学校との連携等のためにスマートフォンを使用していると考えられ、モバイルバッテリーはスマートフォンの使用頻度の高い子育て世帯に特にニーズが高いグッズと思われます。

災害後の3日間で「あってよかったもの」「なくて困ったもの」、災害を経験し「これは絶対用意すべきと感じたもの」はなんですか（複数回答可）

あって良かったもの

今回の千葉県台風は大規模停電になったため、家電製品など全部の電気が使えなくなった。いつ復旧するかぜんぜんわからないし、「いつまでこの生活が続くの～!？」とか「家族の安否は?!」といったように情報面で**スマホの充電は非常に大事だと再認識した。**





安否確認

災害情報



やっぱりスマホ

NEWS

ラジオ

スマホが一度に60人が充電可能（ワンコールなら600人）
付属の折り畳み式太陽光パネルで充電可能
軽量約5Kgで持って逃げる事が可能



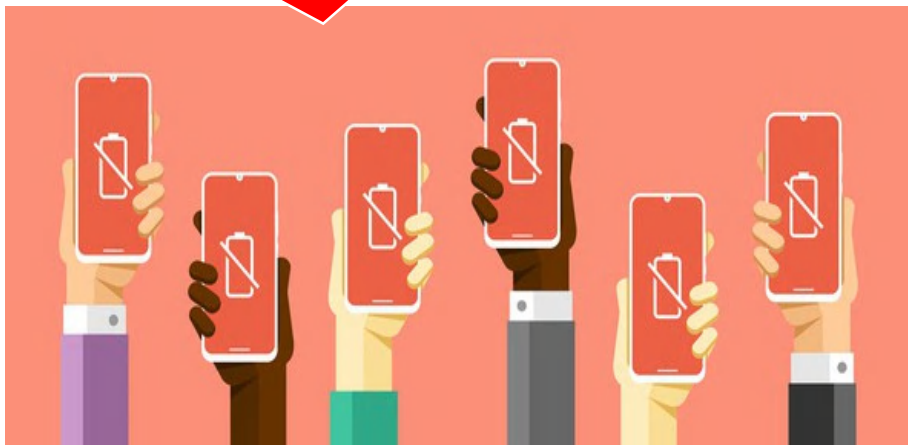
位置情報
GPS



やっぱりスマホ！充電の為、USBの穴の取り合いが起こり多くの被災者が来所し密が発生・・・



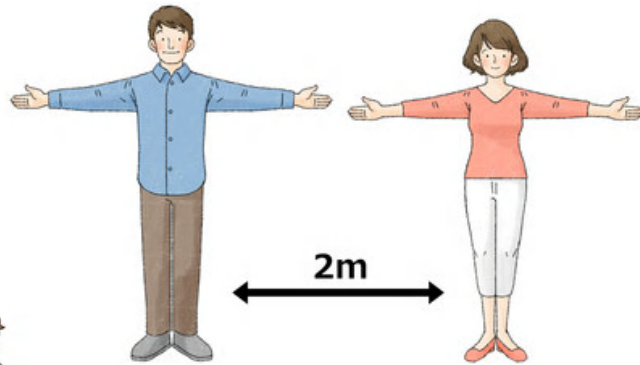
スマホの電気がない！



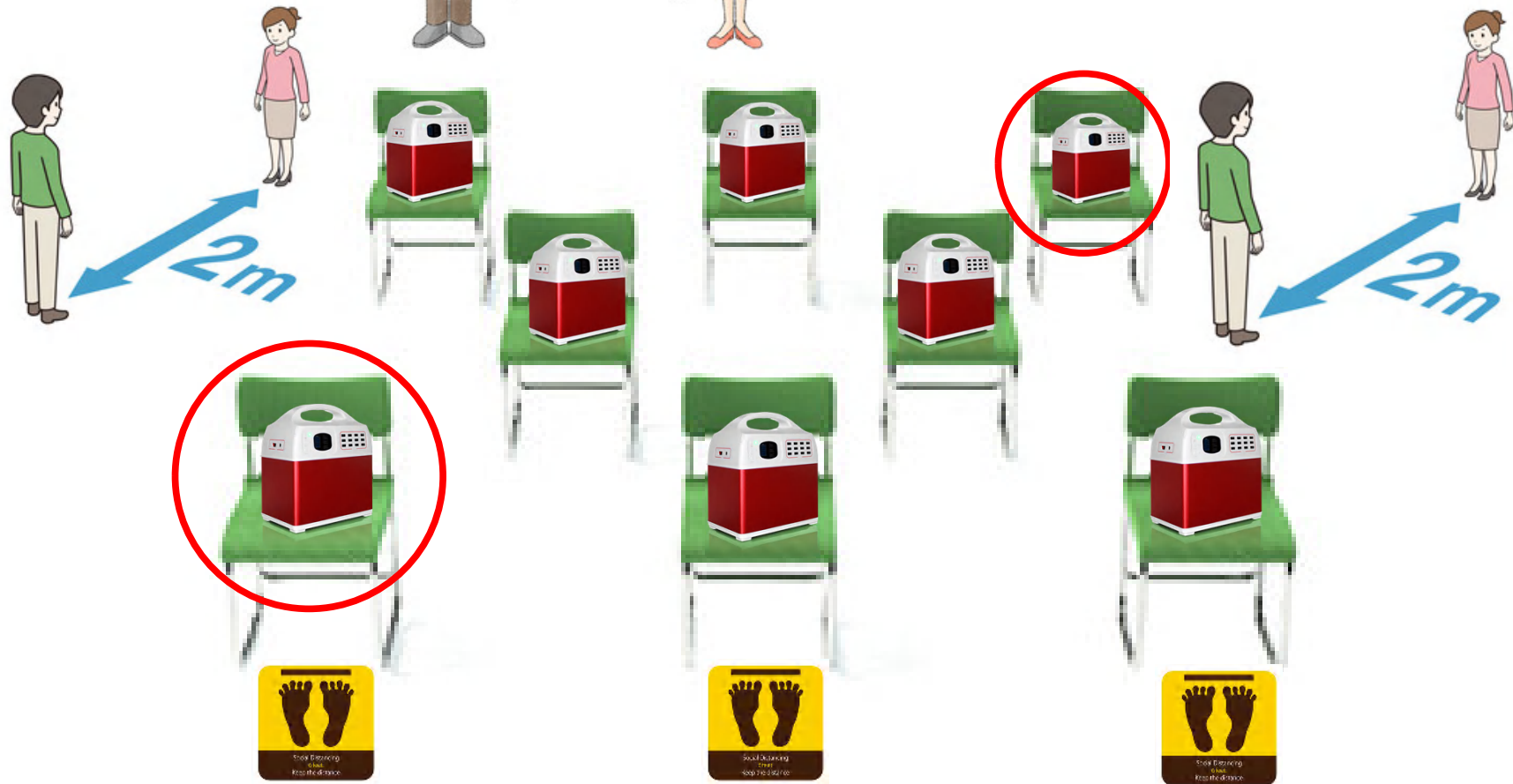
いかにコロナウイルスの感染を防止するか？



10台だけで約600人が満タン充電可能（充電20%なら3000人）

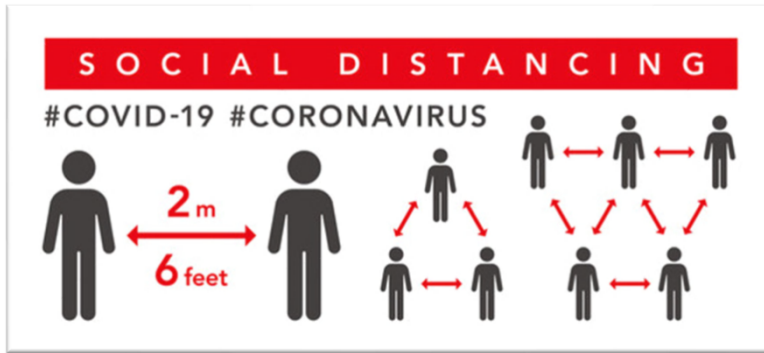


一度に60人が
充電可能



ソーシャルディスタンス 小型分散型・HUG400A設置

小型分散型ソーシャルディスタンス蓄電池HUG400A

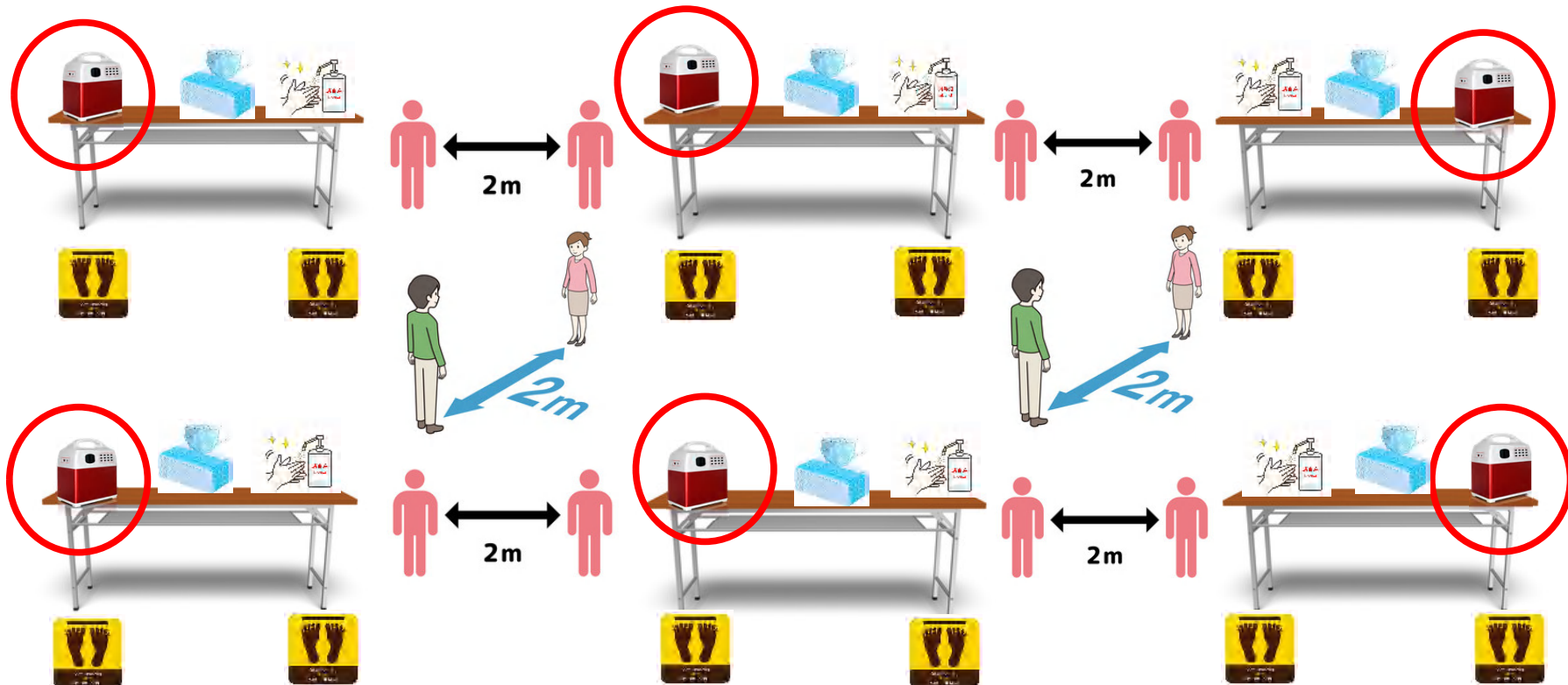


一度に60人が
充電可能

+マスク
+消毒液



ソーシャルディスタンス 小型分散型・HUG400A設置



指定緊急避難場所にも

ソーシャルディスタンス

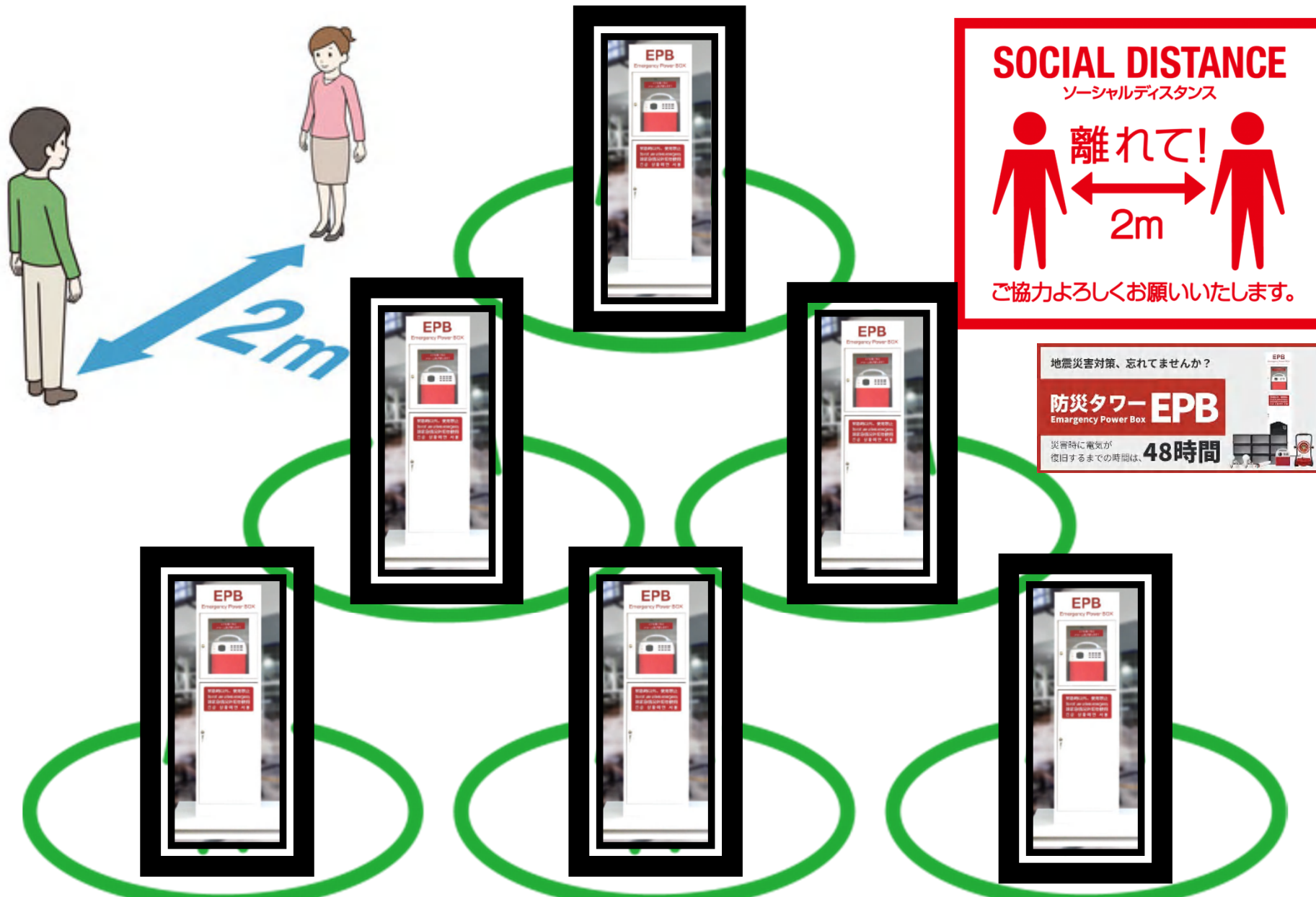


新型コロナウイルス対応型防災



小型分散して、避難場所で密の発生を抑え込む

ソーシャルディスタンス 再生可能エネルギー防災タワーEPB設置



小型分散して避難場所で密の発生を抑え込む

災害対策本部

大容量のメンテナンスフリーのリチウムイオン蓄電池3200Wで災害対策本部を守る！！



平常時

貸会議室

災害時

災害対策室



ソーシャル
ディスタンス

2メートル

ソーシャル
ディスタンスが必要



国土強靱化計画



2019年第5回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）

《最優秀賞》受賞製品

ポータブル・リチウムイオン・蓄電池 HUG400A



電気を持ち運ぶ！新発想！

備えあれば憂いなし

災害用蓄電池

HUG400A

リチウムイオンバッテリー
120,000mAh

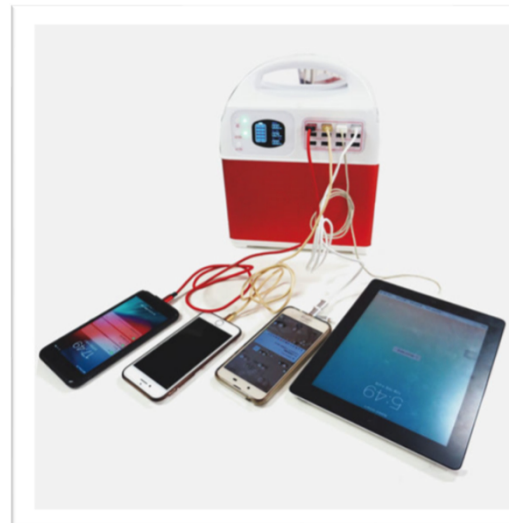


小型の電気を持ち運ぶ新発想！

災害時における充電方法は

- ①市役所など避難所のACコンセントから
- ②専用の太陽光パネルから
- ③ガソリンの発電機から
- ④車を発電機に変えるHUG-CARから

の4WAYです。電気を持ち運びましょう！



電気が 持ち運べる

スマホなら…
約40時間
使用可能

テレビなら…
約3時間
使用可能

パソコンなら…
約5時間
使用可能

LED電球なら…
約100時間
使用可能

HUG400Aは小型・軽量（5.3kgと）とポータビリティに優れデザインもスタイリッシュ。非常時でも持ち運び可能なサイズです。（屋内専用）



一度に60人が 充電可能

日本人がノーベル賞受賞したリチウムイオン電池技術



低容量でも実用性はバッチリ

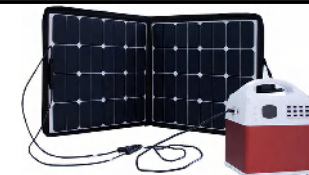
容量は小さくとも、ライフラインを維持するだけなら十分な390Wh。
また、小型・軽量（5.3kgと）とポータビリティに優れデザインもスタイリッシュ。
ご家庭・マンション管理室・クリニック・オフィスなど、非常時でも持ち運び可能なサイズです。（屋内専用）

HUG400Aは、USBポートが12口ついておりますので、ハブポートを使うことで最大60人が一度に充電することができます。
ワンコール充電なら600人！



何度も 充電ができる

ガス発電機やガソリン発電機は、数時間で使えなくなります。
しかし、HUG400Aは、専用太陽光パネル※で何度も充電が可能！
※パネルオはプシオンで2種類ご用意



HUG400Aならこれだけ使えます

スマホだけじゃない
結構使えます！

	55型テレビ	32型テレビ	24型テレビ	モバイルパソコン	携帯ラジオ
消費電力	155W	70W	47W	6000mAh	500mAh
使用目安	2.5時間	5時間	8時間	約20台分充電可能	約200台分充電可能

	扇風機	ドラム式洗濯機	一般大型洗濯機	大型600L型冷蔵庫	小型80L型冷蔵庫
消費電力	44W	洗濯140W	洗濯160W	85W	30W
使用目安	8時間	約4回	約4回	4.6時間	12時間

	LED電球	スマートフォン	電気毛布
消費電力	4W	1,821mAh	55W
使用目安	100時間	約60回充電可能	7時間

HUG400Aなら
**大型電化製品も
使える**



2019年日本人が「リチウムイオン電池」でノーベル賞を受賞
今後は、次第にガソリンなどの発電機は減っていくのではないかも知れませんね・・・

発電機の燃料は多くがガソリンです。ガソリンは揮発性が高い危険物ですので、保管方法はきちんと缶詰め状態にした方が良いでしょう。

発電機、危険な屋内使用 停電中三人CO中毒死

最大震度7の地震を観測し、ほぼ全域が停電する「ブラックアウト」に見舞われた北海道で、土砂崩れなどによる死者41人とは別に、家庭用の小型発電機を屋内で使っていた男性3人が一酸化炭素（CO）中毒により相次いで亡くなっていた。東日本大震災でも同様の死亡事故が起きており、経済産業省は「屋内では絶対に使用しないで」と注意喚起している。

引用：<https://www.yomiuri.co.jp/national/20180916-OYT1T50028.html>

ガソリンは危険物ですので、取り扱いには注意が必要です。灯油などを入れるポリタンクは使用できず、携行缶と呼ばれる金属製の容器に入れなければなりません。また、購入はガソリンスタンドで行いますが、セルフのガソリンスタンドでは携行缶での購入はできないため、セルフスタンドの増えている現在は、購入場所を探すのにやや苦勞するかもしれません。

国土強靱化計画



2020年第6回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）

《優秀賞》受賞製品

「再生可能エネルギー自給自足型防災タワー-EPB（エマージェンシーパワーボックス）」

目標全国100万台



災害時の電源確保 準備はできていますか？

防災タワー
Emergency Power Box
EPB



プライム・スター株式会社
www.primestar.co.jp

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会（本部：東京都、会長：江頭敏明 三井住友海上 火災保険株式会社常任顧問）は、2020年3月17日、「第6回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」の受賞者を発表。中小企業380万社にも国土強靱化計画が策定され、防災都市日本を強くする方針が確認されました。

「第6回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」においてプライム・スター株式会社「再生可能エネルギー自給自足型防災タワーEPB（エマージェンシーパワーボックス）」が優秀賞を受賞いたしました。

「再生可能エネルギー自給自足型防災タワーEPB（エマージェンシー・パワー・ボックス）」は、地域防災の拠点となるべく、小型持ち運び可能な「ポータブル・リチウムイオン蓄電池・HUG400A」、何度でも充電可能な「小型折り畳み式、専用太陽光パネル」、体育館でも明るく出来る「リチウムイオン蓄電池搭載大型防水LED投光器・HUG-20」、車など冠水時に威力を発揮する「クラッシュSOSリチウムイオンハンディライト・HUG E-250」、「レセップ付きLED照明」を搭載した自立型の防災タワーです。



収納物：

- ① リチウムイオン蓄電池
- ② 折り畳み式ソーラーパネル
- ③ 防災ハンディライト
- ④ 非常用投光器
- ⑤ ACアダプタ付きLED電球 2set

太陽光パネルで
何度でも充電可能



地震災害対策、忘れてませんか？

防災タワー EPB
Emergency Power Box

災害時に電気が
復旧するまでの時間は、**48時間**



地域防災のキーステーションづくりに着手

第一勧業信用組合

昨年、千葉県などを襲った台風15号、19号。自然災害が社会にもたらした爪痕は大きく、ライフラインの寸断やATMの停止など、地域に甚大な影響をもたらした。こうした中、地域経済を支える金融機関として、いち早く新たな防災対策を始めたのが東京都内を中心に店舗展開をする第一勧業信用組合（理事長 新田信行氏）だ。

第一勧業信用組合は、企業としてのBCP対策はもちろんのこと、取引先企業の安心、安全の確保、地域防災の拠点づくりとして、本店（新宿区四

谷）から新たな防災システムの導入を開始した。

再生可能エネルギー自給自足型「EPB・エマージェンシーパワーボックス」は、太陽光パネルなどの再生エネルギーや、ガソリン車、EVカーなど既存自動車が発電した電気をリチウムイオン蓄電池に充電し効率よく使用する再生可能エネルギーを利用した持続可能な防災システム。

多発する台風など自然災害による長期停電の際に自宅やマンション等での使用はもちろんのこと、企業や県庁、

EPB・エマージェンシー
パワーボックス
(第一勧業信用組合本店)



市役所、学校、病院などあらゆる場所で電気を使うことができる非常用蓄電池として急速に注目されている。



第一勧業信用組合 理事長 新田信行氏

第一勧業信用組合様



完全メンテナンスフリー・HUG3200

大容量のメンテナンスフリーのリチウムイオン蓄電池3200Wで
対策本部を守る！翌日には太陽光パネルでフル充電可能！



規格寸法等 (1) 大容量ポータブル蓄電池「HUG3200」

- 「蓄電容量」 3200W以上
- 「UPS機能」 UPS機能が付いていること
- 「AC定格出力」 1500W
- 「機器寸法」 W300XD580XH600mm
- 「機器重量」 本体重量47kg程度
- 「出力端子」 AC100VX2口以上
- 「放電温度範囲」 -20度～60度
- 「防水機能」 IP21以上
- 「充電方法」 家庭用AC100V電流、またはソーラーパネルで充電
- 「充電仕様」 過充電防止回路を有する
常時AC電源に接続している際、
一定の電池残量になった時点で
再充電が開始される機能付き
- 「その他」 キャスター付きにより可搬が
容易であること

災害発生時に本当に使えるリチウムイオン蓄電池とは 面倒な充電などのメンテナンスは完全に不要です！

小型・軽量で
持ち運びが可
能で簡単な事

災害発生時は
必要な機器の
稼働が可能

太陽光パネル
で翌日中に満
充電になる事

繋ぎっぱなし
でメンテナ
ンスフリーな事

UPS機能付き
で普段使いが
可能な事

業界初!大容量ポータブル蓄電池のキャリータイプが登場!3200Wの大型出力サイズにして、47kgと軽量化を実現。キャスター付きのため、エレベーターが停止しても階下や屋外に運ぶ事が可能です。

いつ発生するか分からない災害対策として、企業や公共施設に備えれば、大規模災害での停電に大変役立ちます。スマートフォン800台分、ノートPC128時間と大容量。UPS機能付きだから、繋ぎっぱなしで勝手に補給充電開始します。つまりメンテナンス完全フリーです。

別売りの専用の太陽光パネルを使えば、他にパワコンを用意する事なく、翌日満充電になります。翌日には満充電になる事が必修です。コピー複合機や水中ポンプなど高出力製品を使用できるだけでなく、ガソリンなど給油なしでまた再生します。

防災BCP対策におすすめの防災専用の頼もしい蓄電池です。

確度調整装置付き専用の折り畳み式太陽光パネル 「たった1日」で充電完了

HUG3200と繋ぐだけ！専用接続コネクタ付き



持ち運べる！
たった5Kgで軽量小型



**何度も
充電ができる**

確度調整装置付き



メンテナンス完全フリーのリチウムイオン蓄電池HUG3200誕生です！
今までのリチウムイオン蓄電池は年に2度ほどの充電が必要でした
HUG3200はUPS機能付き。だから、繋ぎっぱなしで面倒なメンテナンスは不要です

防災専用リチウムイオン蓄電池HUG3200

3200Whの大容量、アメリカ国際検査機関ULの試験（BBCV2.MH21015合格）の18650型リチウムイオン蓄電池を搭載し安全性と軽量化（47Kg）に成功。（重量比較：ホンダEu2800i発電機：約75Kg）筐体下部の4つのキャスターで移動も楽々。エレベーターが止まっても階下や屋外への持ち運びが可能です。

☆メンテナンスフリー・設定した蓄電量以下になると自動で充電します。

普段から繋ぎっぱなしでOK。発電機のようにガソリンは必要ありません。いざという時にエンジンがかからないなどということはありません。

☆45KGの軽量化を実現！

今まで持ち運ぶことができなかった大容量蓄電池は、その携帯性能の向上により 冠水時の水中ポンプの稼働や屋外でのドローン利用など停電時の強い味方です。

☆4つのキャスター付き

キャスターが付いているため、持ち運びが楽々です。災害時のエレベーター停止時にも階下に持ち運びが可能です。

☆3200KWの大容量の為、通信必要なスマホだけでなく、停電時に対策本部などで必要なパソコン、Wi-Fiルーター、HUB、コピー複合機、FAX送受信機、防災無線機、テレビ、ラジオ、LED照明、電動ノコギリ、大型ドローン、水中ポンプ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン（100V）、ウォーターサーバーなども稼働します。

☆専用の軽量（1個約5Kg）の太陽光パネルを繋ぐだけで翌日、満充電になります（約8時間）パワーコンディショナーは内蔵されています。パワコン購入など追加での投資は発生しません。

☆もちろん、日本国内でも安心して使用可能なPSEマークがついています。

☆HUG3200は防災時だけでなく、UPS機能も付いています。備蓄倉庫に保管することなく 日常的に繋ぎっぱなしでOK。停電時は瞬時にPCなどに電気を送りこみます。

容量から概算計算	タイプ (想定写真)	一般的な消費電力	使用可能な想定時間
水中ポンプ		450W	7時間
ウォーターサーバー		冷水時120W 湯沸時400W	冷水時27時間 湯沸時8時間
HUB		7.2W	444時間
コピー複合機		省エネ時750W・ 通常時1500W	省エネ時4.3時間・ 通常時2時間
FAXパーソナル型送受信機		待機時5W・ 稼働時100W	待機時640時間・ 稼働時32時間
防災無線機		30W	106時間

電動ノコギリ		700W	4.5時間
大型ドローン (DJI社製Matrice600)		99.9WX6台 =599.4W	5.3回
Wi-Fiルーター (NEC aterm WG1200HP)		4W	800時間
スマホ		10W	800台分 320時間
LED照明		4W	800時間
デスクトップPC		150W	21時間
ノートPC		25W	128時間

掃除機		1000W	3.2時間	アイロン		1400W	2.3時間
炊飯器		1000W	3.2時間	ハロゲンヒーター		600W	5時間
湯沸かし電気ポッド		1000W	3.2時間	こたつ		500W	6.4時間
ホットカーペット		700W	4.5時間	ドラム式洗濯機		140W	洗濯40回 (1回33分)
ドライヤー		800W	4時間	扇風機		37W	86時間 (12時間 使用で7日 間)
プロジェクター		320W	10時間	大型冷蔵庫		85W	38時間
IHクッキングヒーター		1500W	2時間	電気毛布		55W	58時間
				32型テレビ		69W	46時間

排水



2019年の台風でも話題となった
浸水時の排水ポンプが稼働するかどうか
試験を実施。



水中ポンプも動きます。50KGを越えるものはエレベーター稼働なしには1階に下すことが難しい。軽量で動かせないとNGです。冠水した被災ビルから水をかき出すポンプも電気が必要です。

ドローンの急速充電も可能
被災地を調査する便利なドローンも電気が必要です。
スカイシーカー様と組んで、あきる野市や福島県などでも充電実証実験済み

ドローン



リチウムイオン電池パックを6台使用



社員の安否確認(通信手段の確保)



カスタマサポート事業継続(お客様支援)



クライアント端末



ネットワーク

生產品質維持、防犯・安全・セキュリティー



PC、FAX、コピーマシン、冷蔵庫、社内電話、ウォーターサーバーも動きます。
冷却は120W程度使用します。熱湯は400W程度使用します。
使用の際、蓄電池はウォーターサーバー近くで作動、軽量で動かせないとNG



冷水
給水



会社概要

会社名：プライム・スター株式会社

英文表記：Prime Star Co,Ltd

www.primestar.co.jp

代表取締役社長（ファウンダー）：下田 知代

所在地

〒107-0052東京都港区赤坂4丁目8番14号赤坂坂東ビルディング8階

TEL:03-6869-6606 / FAX:03-6869-6607

事業内容

- 1.LED照明器具を含む一般照明器具のデザイン・設計・製造・販売及び輸出入
- 2.リチウムイオン蓄電池開発・製造・販売
- 2.LED照明など高効率照明に関する企画・レンタル・施工管理・コンサルティング業務
- 3.CO2排出権取引に関する業務
- 4.節水・フロンガス対策・デマンドコントロール・電子ブレーカーなど総合的な企業支援業務
- 5.ECO事業に関するファンド組成・管理・運營業務
- 6.一般電気工事

資本金：7000万円（東京電力出資会社）

設立：平成15年

取引銀行：みずほ銀行 三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行

香港現地法人

美星光電有限公司 / Primestar Technology HK Limited

住所：Unit C, 10/F, Yan's Tower, 27 Wong Chuk Hang Road, Hong Kong

中国深圳工場：美月星光電有限公司



自社工場：ISO9001：2015取得

中国深圳工場

加盟団体

- ・一般社団法人日本照明工業会正会員
- ・一般社団法人防災事業経済協会
- ・一般社団法人LED光源普及開発機構正会員
- ・一般社団法人東京電業協会
- ・東京商工会議所加盟
- ・公益社団法人全国ビルメンテナンス協会
- ・登録電気工事業者（東京知事登録・第276016）
- ・一般建設業 東京都知事 許可（般-29）第148155号

